

徳山工業高等専門学校第 3 期中期計画

平成 2 6 年 4 月 1 日

徳山工業高等専門学校第3期中期計画

独立行政法人国立高等専門学校機構（以下「機構」という。）の第3期中期計画を踏まえ、徳山工業高等専門学校の第3期中期計画（以下「中期計画」という。）を次のとおり定める。

－目次－

(前文)	6
I. 国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上	
1. 教育に関する事項	7
(1) 入学志願者の確保	7
① 入学志願者数の学力水準の維持及び志願者数の確保	
② 女子学生志願者数の確保	
③ 適切な入学試験の実施	
(2) 教育課程の編成等	7
① 学科再編と専攻科の充実	
② 学習到達度試験, TOEIC や ACE の活用	
③ 授業アンケートの実施	
④ 競技会やコンテストへの参加	
⑤ 体験活動の実施	
(3) 優れた教員の確保	7
① 多様な背景を持つ教員組織	
② 高専・技科大交流制度の活用	
② 優れた能力を持つ教員の採用	
③ 女性教員の採用促進	
⑤ FD 活動の推進	
(4) 教育の質の向上及び改善	8
① モデルコアカリキュラムの導入と ICT を活用した教材や教育方法の開発	
② JABEE 認定プログラムの継続	
③ 学生交流活動の促進	
④ エンジニアリング・デザイン教育や PBL の導入	
⑤ 高等専門学校機関別認証評価の計画的受審	
⑥ 企業と連携した「共同教育」の実施	
⑦ 企業技術者や外部の専門家との協働教育の実施	
⑧ 技科大との連携による教員研修、教育課程の改善	
⑨ ICT を活用した教育の推進	
⑩ 教育点検システムの評価	

⑪ 年間職務の自己評価	
(5) 学生支援・生活支援等	9
① 学生支援・生活支援の質の向上	
② 学生支援施設の計画的な整備	
③ 各種奨学金制度の積極的な活用	
④ キャリア教育支援の充実と高い就職率の維持	
(6) 教育環境の整備・活用	9
① 全学的な視点に立った施設マネジメント	
② 施設の耐震化	
③ 安全管理	
④ 男女共同参画の推進	
2. 研究や社会連携に関する事項	10
① 研究成果の発信	
② 共同研究、受託研究受入の促進	
③ 研究成果の知的資産化及び活用の促進	
④ 研究シーズの発信	
⑤ 公開講座等の充実	
3. 国際交流等に関する事項	10
① 海外の教育機関との国際交流の促進	
② 語学研修、海外留学、海外インターンシップの推進	
③ 留学生受け入れの環境整備	
④ 留学生に対する研修等の実施	
4. 管理運営に関する事項	10
① 教職員のコンプライアンスの向上及び健康管理	
② 公的研究費等に関する不正使用の防止	
③ 事務職員や技術職員の資質の向上	
④ 事務職員や技術職員の交流の推進	
⑤ 情報セキュリティ対策の推進	
⑥ 機構の中期計画および年度計画を踏まえた年度計画の策定	
⑦ 危機管理への対応	
⑧ 学内監査体制の強化	

⑨ 資産の有効活用	
II. 業務運営	
1. 業務運営の効率化	1 1
① 業務運営の効率化への取組みを実施する	
III. 予算	
1. 収益の確保、予算の効率的な執行、適切な財務内容の実現	1 1
① 外部資金獲得に積極的に取組み自己収入の増加を図る	
IV. その他主務省令で定める業務運営に関する事項	
1. 施設及び設備に関する計画	1 2
① 施設マネジメントに基づく整備計画の見直し	

(前文)

本校は、山口県東部の臨海工業地帯に立地する高等教育機関として、同地域、同県のみならず、我が国、さらには世界の発展と人々の幸福の増進に貢献する、高度な技術と正しい倫理観を持った人材の育成を建学の理念として、技術に志のある有為の人材を中学卒業段階で選抜し、高水準の教育研究環境と、優れた教育研究スタッフの下で、5年間もしくは7年間の一貫した教育プログラムを提供してきた。

これまでに送り出してきた延べ4千人を超える卒業生は、地域はもとより国内外で活躍しており、彼らの評価が高いことは、これまでの本校の教育プログラムの妥当性を示すものである。

しかしながら、少子高齢化の急速な進展、国際化等の社会環境の変化や、中進国の追上げ等による産業構造の変化が進む中で、高専にもこれらの変化に対応した教育の質の進化が求められている。本校もまた、自身の社会的役割を時代のニーズにあったものとし、創造力や国際性に富み、人間性豊かな人材を育成するといった視点から、教育プログラムのさらなる改善、見直しの努力が必要となっている。

このような観点に立って、新しい時代に対応し、地域社会、地域企業、卒業生といった社会からの支援や社会との連携を強化し、本校における教育プログラムをさらに高度化していくことを目指して、この中期計画を策定した。

I. 国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上

1. 教育に関する事項

(1) 入学志願者の確保

① 入学志願者数の学力水準の維持及び志願者数の確保

○本校のアドミッションポリシーを明確に示し、中学校などを中心に、校内見学会、体験入学等を充実するとともに、ホームページ、SNS、同窓会との連携により広く社会に向けてPR活動を行い、ものづくりへの意欲があり学力水準の高い学生の本校への関心を高めるように務める。

② 女子学生志願者数の確保

○女子中学生の関心を高めるため、上記①の取組みに際して、女子中学生を対象とした取組みを積極的に行うとともに、女子学生の就学環境の改善を行う。

③ 適切な入学試験の実施

○入学者の学力水準を維持するため、適切な入試実施への取組みを行う。

(2) 教育課程の編成等

① 学科再編と専攻科の充実

○産業構造の変化や技術の高度化、少子化の進行、グローバル化、社会・産業・地域ニーズを踏まえ、学科増もしくは学科の再編を行う。

○本科とともに、産業構造の変化や技術の高度化、少子化の進行、グローバル化、社会・産業・地域ニーズを踏まえ、専攻科の再編・充実を図る。

② 学習到達度試験、TOEIC、ACE などの一斉試験の活用

○学習到達度試験、TOEIC、ACE などの一斉試験を実施し、その結果を分析し、本校におけるさらなる学力の向上を図る。

③ 授業アンケートの実施

○全教員が、授業アンケート結果を含む自己評価を実施し、授業改善に生かす。

④ 競技会やコンテストへの参加

○全国的な競技会やコンテストへの学生の積極的な参加を支援する。

⑤ 体験活動の実施

○ボランティア活動や合宿研修などの体験活動の実施を推進する。

(3) 優れた教員の確保

① 多様な背景を持つ教員組織

○教員の採用は公募によることとし、教授および准教授については、本校以外の高等専門学校や大学、高等学校、民間企業、研究機関における勤務経験を有し、又は一年

以上海外で研究や経済協力に従事した経験を有するものが全体として60%を下回らないようにする。

② 高専・技科大交流制度の活用

○教員の力量を高め、学校全体の教育力向上にむけ、高専・両技科大間教員交流制度を活用する。

③ 優れた能力を持つ教員の採用

○専門科目（理系の一般科目を含む。以下同じ。）については、博士の学位を持つ者や技術士等の職業上の高度な資格を持つ者、理系以外の一般科目については、修士以上の学位を持つ者や民間企業等における経験を通して高度な実務能力を持つ者など優れた教育力を有する者を採用する。

○上記の要件に合致する者を専門科目担当の教員については全体として70%を、理系以外の一般科目担当の教員については全体として80%を下回らないようにする。

④ 女性教員の採用促進

○女性教員の採用を促進するため、必要な制度や支援策について検討を行い、働きやすい職場環境の整備に務める。

⑤ FD活動の推進

○教員の能力向上を目的とした教員研修（ファカルティー・ディベロップメント）を計画的に推進する。

（4）教育の質の向上及び改善

① モデルコアカリキュラムの導入と、ICTを活用した教材や教育方法の開発

○Web シラバスの導入、アクティブラーニングコンテンツの開発など、ICTを活用した教材や教育方法の開発により、モデルコアカリキュラムの導入による教育の質保証を推進する。

② JABEE 認定プログラムの継続

○日本技術者教育認定機構（JABEE）による認定を継続し、教育の質の向上のため、認定プログラムの改善に努める。

③ 学生交流活動の促進

○サマースクールや国内留学等の学生の交流活動を促進する。

④ エンジニアリング・デザイン教育やPBLの導入

○エンジニアリング・デザイン教育やPBLの導入により、教育方法の改善を促進する。

⑤ 高等専門学校機関別認証評価の計画的受審

○高等専門学校機関別認証評価受審への準備を計画的にすすめ、教育の質を保ち、さらに教育プログラムの改善に取り組む。

⑥ 企業と連携した「共同教育」の実施

○インターンシップ等を実施し、企業と連携した共同教育を推進する。

- ⑦ 企業技術者や外部の専門家との協働教育の実施
 - 企業技術者や外部の専門家と協働した教育を推進する。
- ⑧ 技科大との連携による教員研修、教育課程の改善
 - 長岡・豊橋両技術科学大学と連携し、教員の研修、教育課程の改善等を推進する。
- ⑨ ICT を活用した教育の推進
 - ICT を活用したアクティブラーニングなどの教育を推進する。
 - 高専機構 LAN 一括調達に対応した環境整備を行い、教室内無線 LAN の活用法と外部回線の一本化に伴う e-learning システムの運用方法を検討する。
- ⑩ 教育点検システムの評価
 - 教育点検システムの評価を実施し、システムそのものが機能しているかを評価する。
- ⑪ 年間職務の自己評価
 - 教員の年間職務の自己評価を実施し、教員の職務の改善に務める。

(5) 学生支援・生活支援等

- ① 学生支援・生活支援の質の向上
 - 学生に対するメンタルヘルス・就学・生活に関する支援を推進する。
- ② 学生支援施設の計画的な整備
 - 学生寮、図書館、福利厚生センター、合宿研修施設の整備を計画的に推進する。
- ③ 各種奨学金制度の積極的な活用
 - 日本学生支援機構の奨学金など、各種奨学金制度の積極的な活用を促進する。
- ④ キャリア教育支援の充実と高い就職率の維持
 - キャリア教育支援の充実を図り、高い就職率を維持する。

(6) 教育環境の整備・活用

- ① 全学的な視点に立った施設マネジメント
 - 教育施設・設備について全学的な視点に立った施設マネジメントに基づいた整備計画の見直しを行う。
- ② 施設の耐震化
 - 施設の耐震化を計画的に推進する。
- ③ 安全管理
 - 学生及び教職員の安全管理を推進する。
- ④ 男女共同参画とワーク・ライフバランスの推進
 - 男女共同参画とワーク・ライフバランスを推進するため、参考となる情報を収集・提供して、意識醸成等に努める。

2. 研究や社会連携に関する事項

① 研究成果の発信

○研究活動を活性化し、その成果を広く社会に発信して、科学研究費助成事業等の外部資金の獲得を促進する。

② 共同研究、受託研究受入の促進

○産業界や地方公共団体との共同研究、受託研究への取組みを促進する。

③ 研究成果の知的資産化及び活用の促進

○研究成果の円滑な知的財産化及び活用に向けた取組みを促進する。

④ 研究シーズの発信

○教員の研究成果や技術シーズを企業や地域社会に広く情報発信する。

⑤ 公開講座等の充実

○公開講座等を充実し、計画的に実施する。

3. 国際交流等に関する事項

① 海外の教育機関との国際交流の促進

○国際交流を促進するため香港 VTC、シンガポール・ポリテクニク、台北科技大学、オーストラリア・ワランゴン大学などの海外の教育機関との交流活動を推進する。

② 語学研修、海外留学、海外インターンシップの推進

○学生や教員の海外交流を促進するため、語学研修、海外留学、インターンシップを推進し、教育のグローバル化に取り組む。

③ 留学生受け入れの環境整備

○留学生の受け入れに必要な環境整備を推進する。

④ 留学生に対する研修等の実施

○留学生に対する研修等を実施する。

4. 管理運営に関する事項

① 教職員のコンプライアンスの向上及び健康管理

○教職員のコンプライアンスの向上及び健康管理に努める。

② 公的研究費等に関する不正使用の防止

○公的研究費等に関する不正使用の防止策を確実に実施し、不正経理の防止に努める。

③ 事務職員や技術職員の資質の向上

○事務職員や技術職員の能力向上を図るため、研修会等に参加する。

④ 事務職員や技術職員の交流の推進

○事務職員や技術職員については、国立大学や高専間などの人事交流を積極的に推進する。

⑤ 情報セキュリティ対策の推進

○高専機構と連携し、e-learning 教育システムによる教職員のセキュリティ教育の推進、資産管理ソフト AssetView によるソフトウェア資産の一元管理の推進、アンチウイルスソフトウェアの使用の徹底を計るなど、情報セキュリティ対策を適切に推進する。

⑥ 機構の中期計画および年度計画を踏まえた中期計画および年度計画の策定

○機構の中期計画および年度計画を踏まえ、本校独自の中期計画および年度計画を定め、具体的な成果指標を設定する。

⑦ 危機管理への対応

○「防災マニュアル」に基づき危機管理へ対応する。

⑧ 学内監査体制の強化

○学内の監査体制を強化し、高専相互会計内部監査に対応する。

⑨ 資産の有効活用

○資産の有効活用方策を検討し、徹底した管理を継続する。

II. 業務運営

1. 業務運営の効率化

① 業務運営の効率化への取組みを実施する

○一般管理費の見直しを実施し、削減に取組むとともに、契約は原則として一般競争契約とし、随意契約の見直しを行う。

III. 予算

1. 収益の確保、予算の効率的な執行、適切な財務内容の実現

① 外部資金獲得に積極的に取組み自己収入の増加を図る

○共同研究、受託研究、寄附金、科学研究費助成事業などの外部資金の獲得に努め、自己収入の増加を図る。

IV. その他主務省令で定める業務運営に関する事項

1. 施設及び設備に関する計画

- ① 施設マネジメントに基づく整備計画の見直し
- 教育施設・設備について全学的な視点に立った施設マネジメントに基づいた整備計画の見直しを行い、施設の改善を計画的に行う。